

---

# 中野市民アンケート調査

あなたの声をお聴かせ下さい

## 報告書

(令和3年7月実施)

## 単純集計

令和3年8月

中野市

---

## 調査の概要

### 1 調査の目的

各種施策や行政事務についての市民ニーズの把握と行政課題の抽出を行い、様々な行政課題を検討し、今後の施策展開に活かしていくため。

---

### 2 調査設計

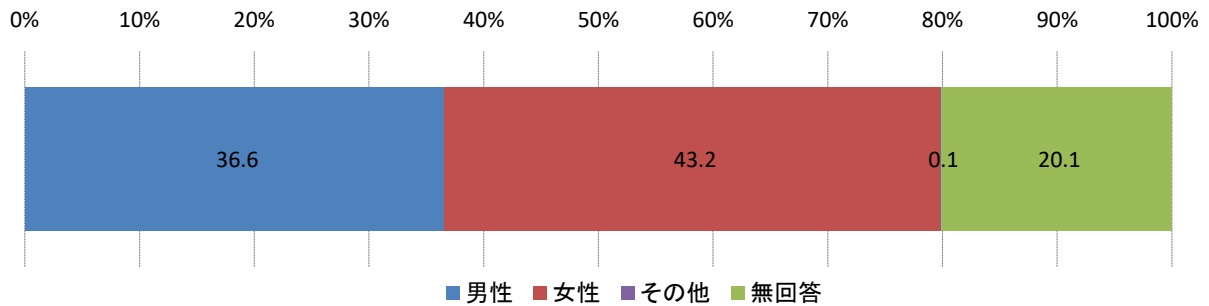
- 1) 調査対象：18歳以上の市民から2,000人を無作為に抽出
  - 2) 調査方法：郵送により配布し、郵送及びインターネットにより回答
  - 3) 調査期間：令和3年5月10日～令和3年9月30日
  - 4) 対象者数：2,000票
  - 5) 回収数：796票（うちインターネット115票）
  - 6) 回収率：39.8%
- 

### 3 集計上の留意点

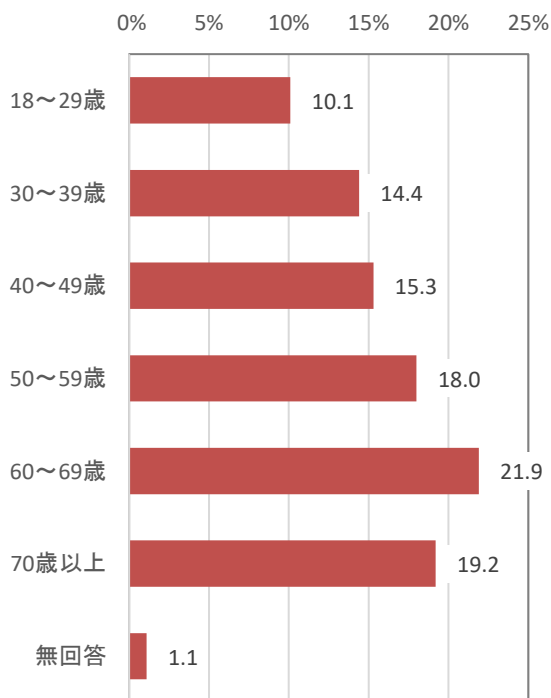
- 1) 回答率（割合(%)）は、小数点第2位を四捨五入して、小数点第1位までを表記しました。このため、合計が100にならない場合があります。
  - 2) 複数回答方式（マルチ回答）の設問では、回答率（割合(%)）は回答者総数の割合を示しています。したがって、回答率の合計は100になりません。同様に、回答数の合計は回答者総数とは一致しません。
-

## 最初に、あなた自身のことについて伺います

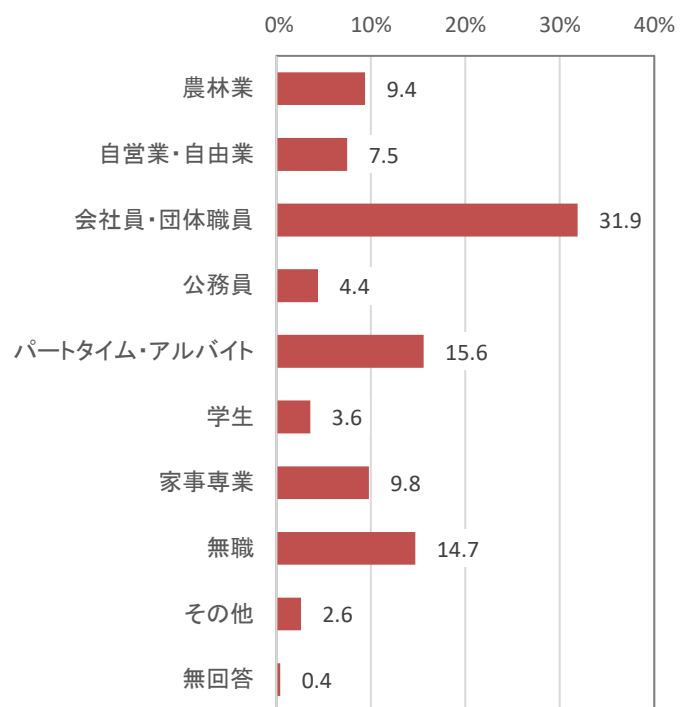
性別



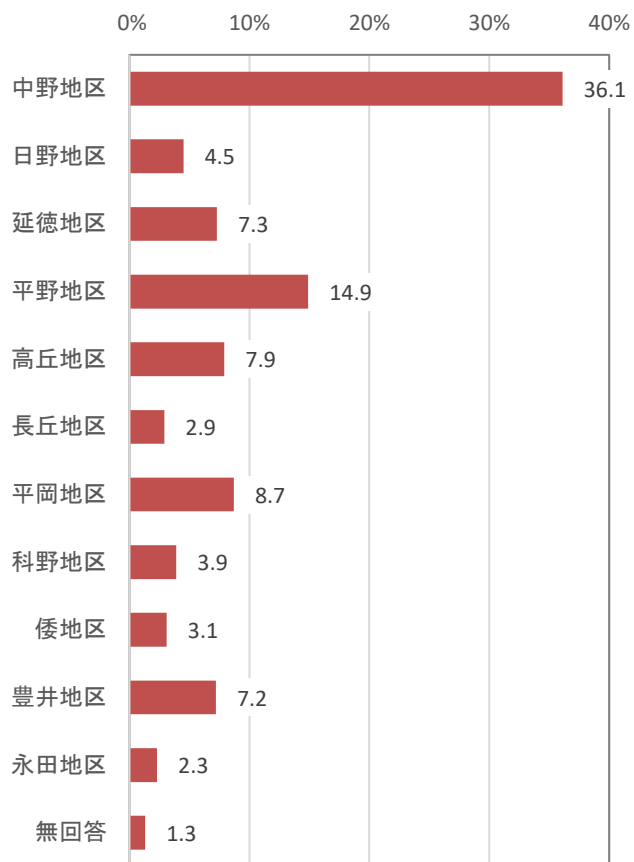
年齢



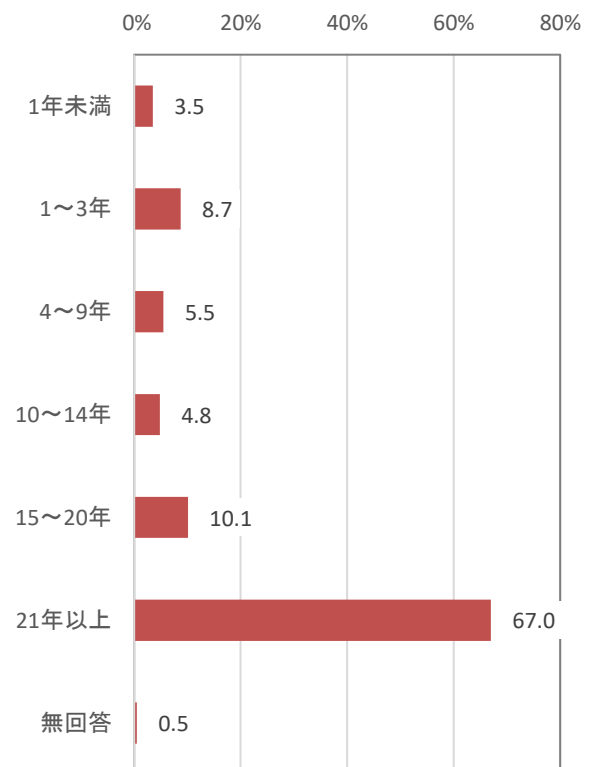
職業



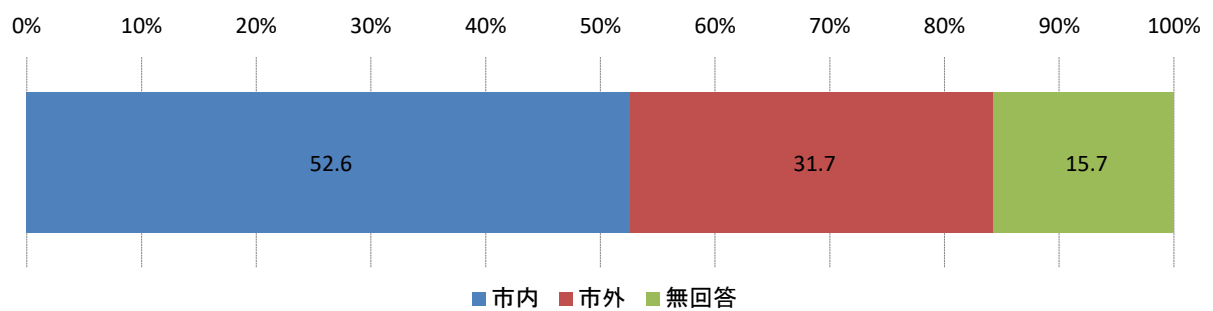
## 居住地区(小学校区)



## 中野市での居住歴

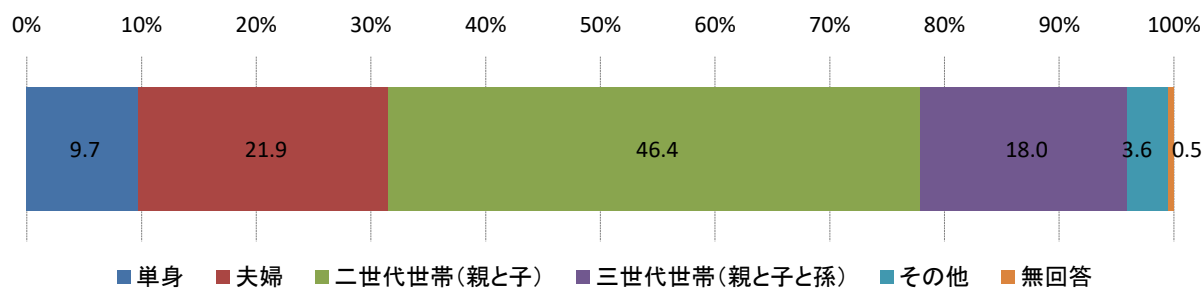


## 仕事の場所(学業を含む)

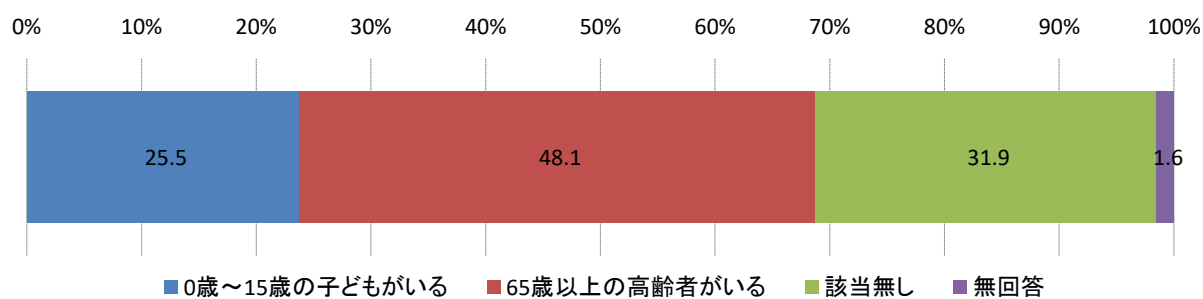




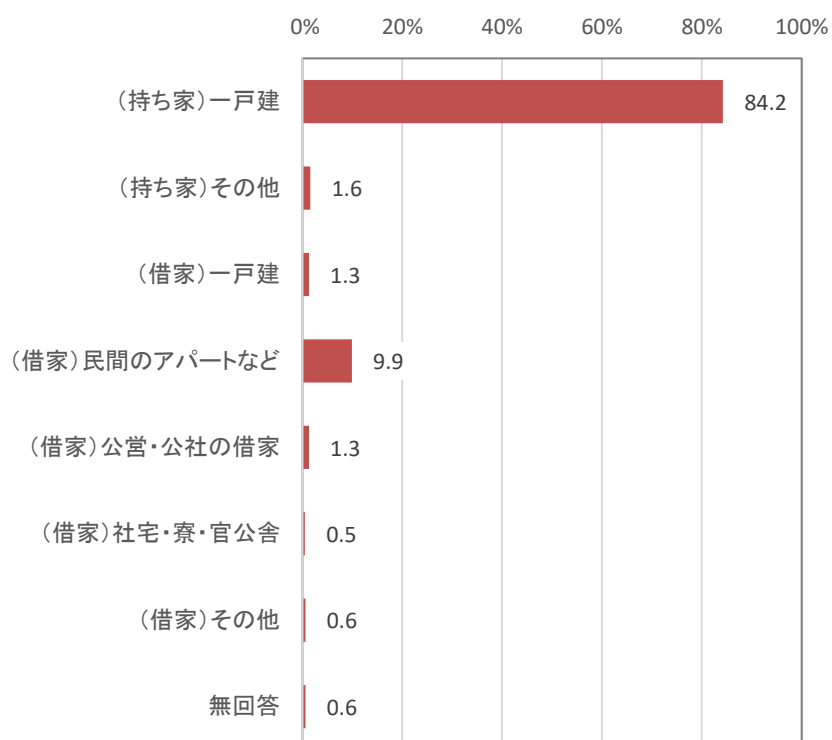
## 家族構成



## 世帯の状況



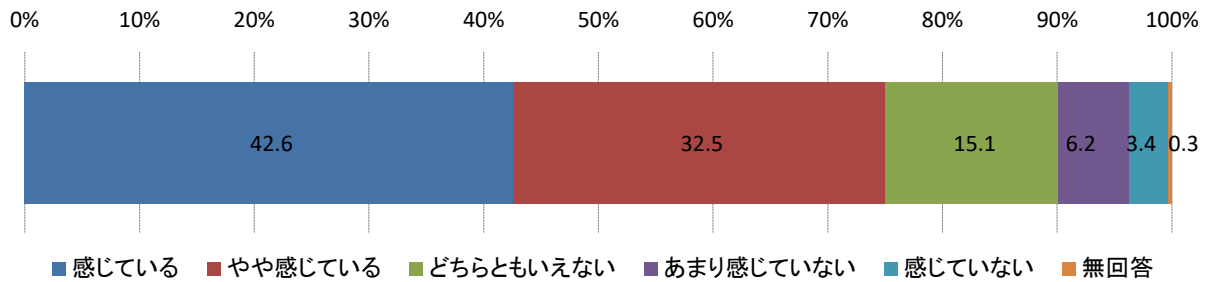
## 住まい



## 満足度調査

問1 あなたは、中野市に愛着を感じますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

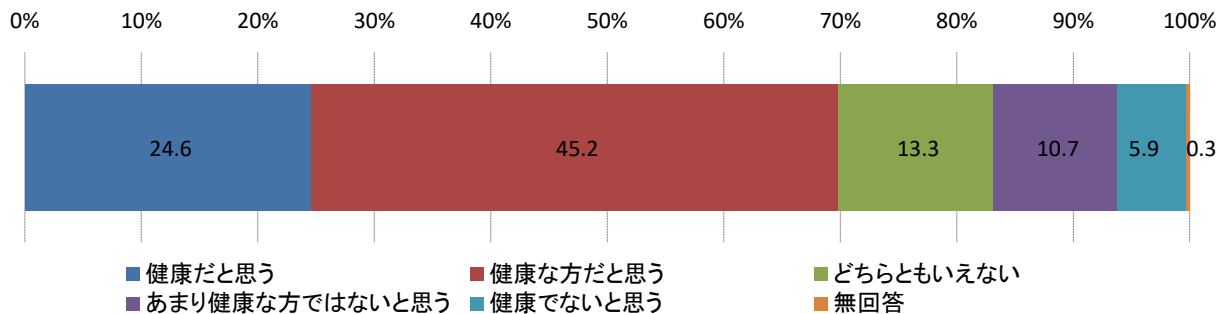
中野市への愛着(総数 796、単位%)



●「感じている」が42.6%で最も多く、「やや感じている」32.5%と合わせると75.1%が愛着を感じていると回答している。

問2 あなたは今、健康だと思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

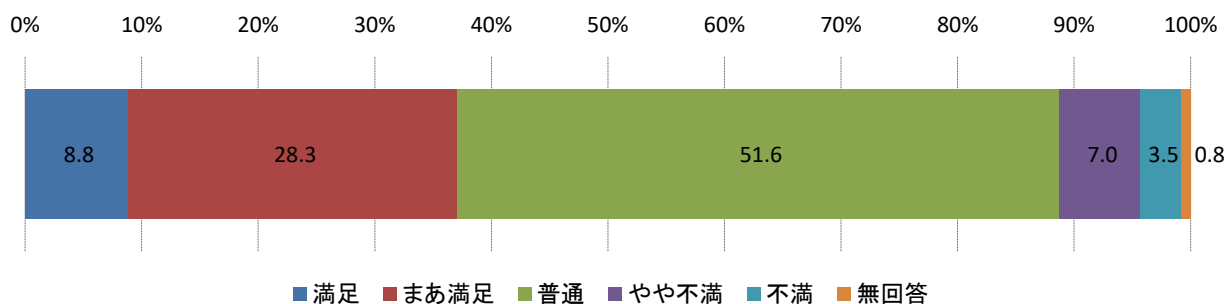
あなたの健康度(総数 796、単位%)



●「健康な方だと思う」が45.2%で最も多く、次いで「健康だと思う」が24.6%、合わせて69.8%が健康と答えている。

問3 身の回りの福祉的な環境、人間性を大切にする環境を考えた時、あなたは「地域の人とのつながりやふれあい、ささえあい」についてどの程度満足していますか。  
あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

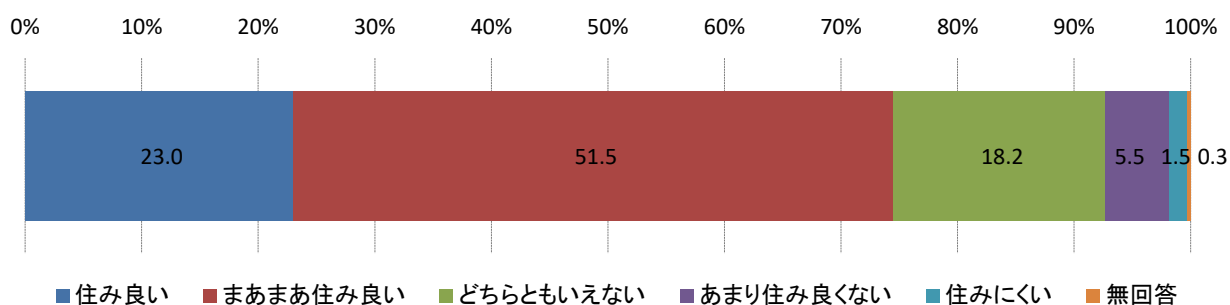
「地域の人とのつながりやふれあい、ささえあい」の満足度(総数 796、単位%)



●「普通」という回答が51.6%と最も多くなっている。「満足」が8.8%、「まあ満足」が28.3%で、合わせて37.1%と三分の一以上の方が満足と回答している。

問4 あなたにとって中野市は、どの程度住み良いですか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

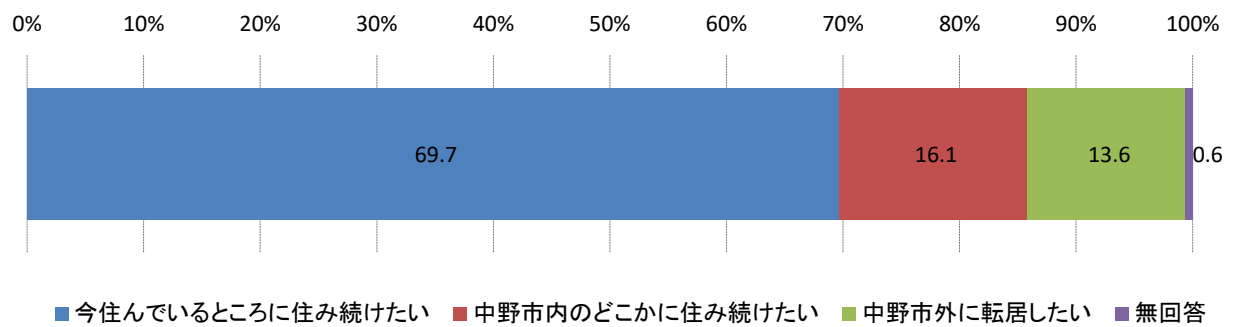
中野市の住み良さ(総数 796、単位%)



●「住み良い」23.0%、「まあまあ住み良い」51.5%で、合わせて74.5%が住み良いと回答している。

問5 あなたは、中野市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

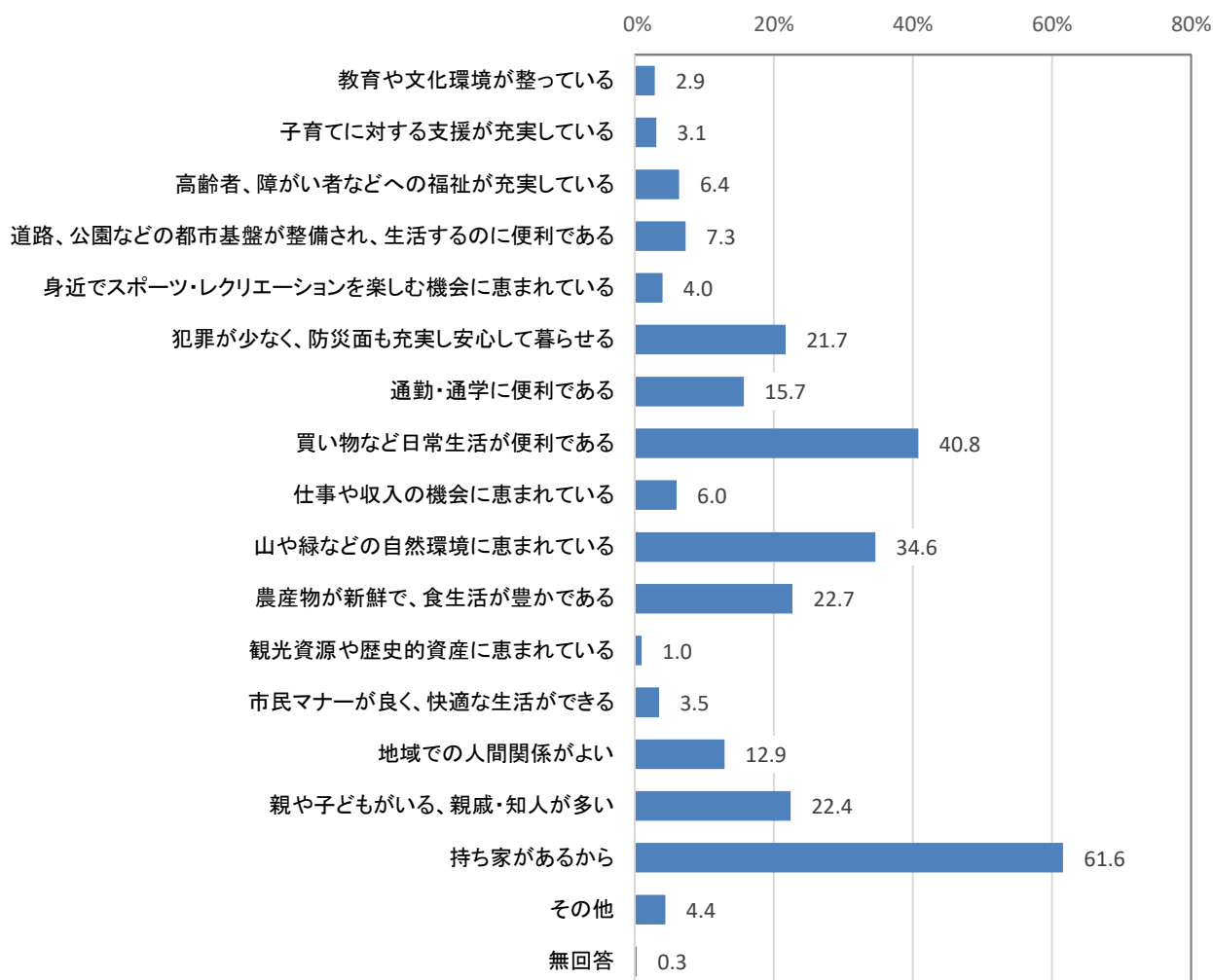
中野市への定住意向(総数 796、単位%)



●「今住んでいるところに住み続けたい」が 69.7%、「中野市内のどこかに住み続けたい」が 16.1%、「市外に転居したい」が 13.6%となっている。

問5-1 問5で、「1. 今住んでいるところに住み続けたい」または「2. 中野市内のどこかに住み続けたい」を選んだ方に伺います。住み続けたい主な理由は何ですか。あてはまるものに○をしてください。(○は3つまで)

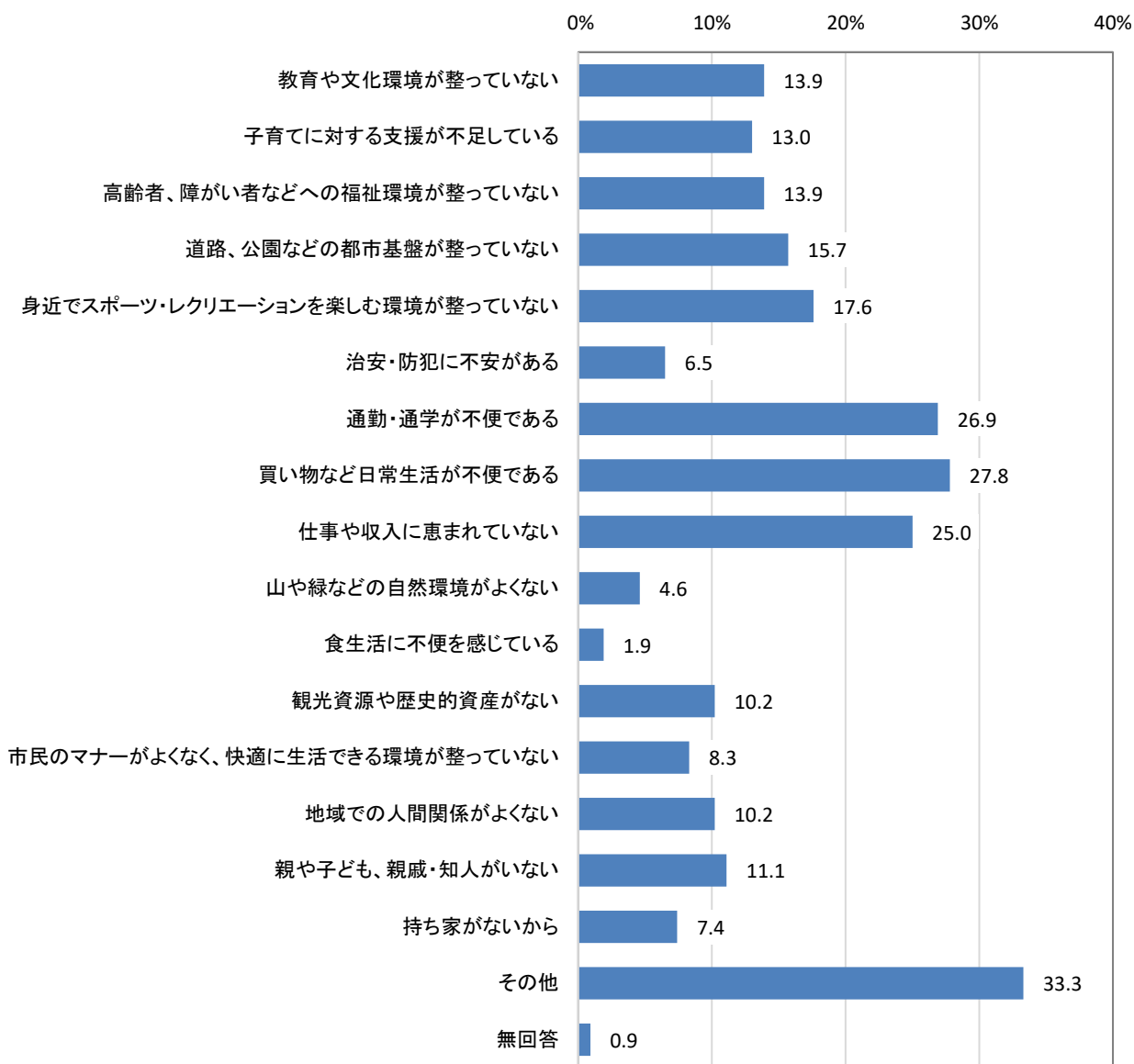
**中野市に住み続けたい主な理由(総数 683、単位%、3つまで複数回答)**



●中野市に定住したい理由は、「持ち家があるから」が最も多く 61.6%、次いで「買い物など日常生活が便利である」が 40.8%、「山や緑などの自然環境に恵まれている」が 34.6%、「農産物が新鮮で、食生活が豊かである」が 22.7%などとなっている。

問5-2 問5で、「3. 中野市外に転居したい」を選んだ方に伺います。市外に移りたいという主な理由は何ですか。あてはまるものに○をしてください。(○は3つまで)

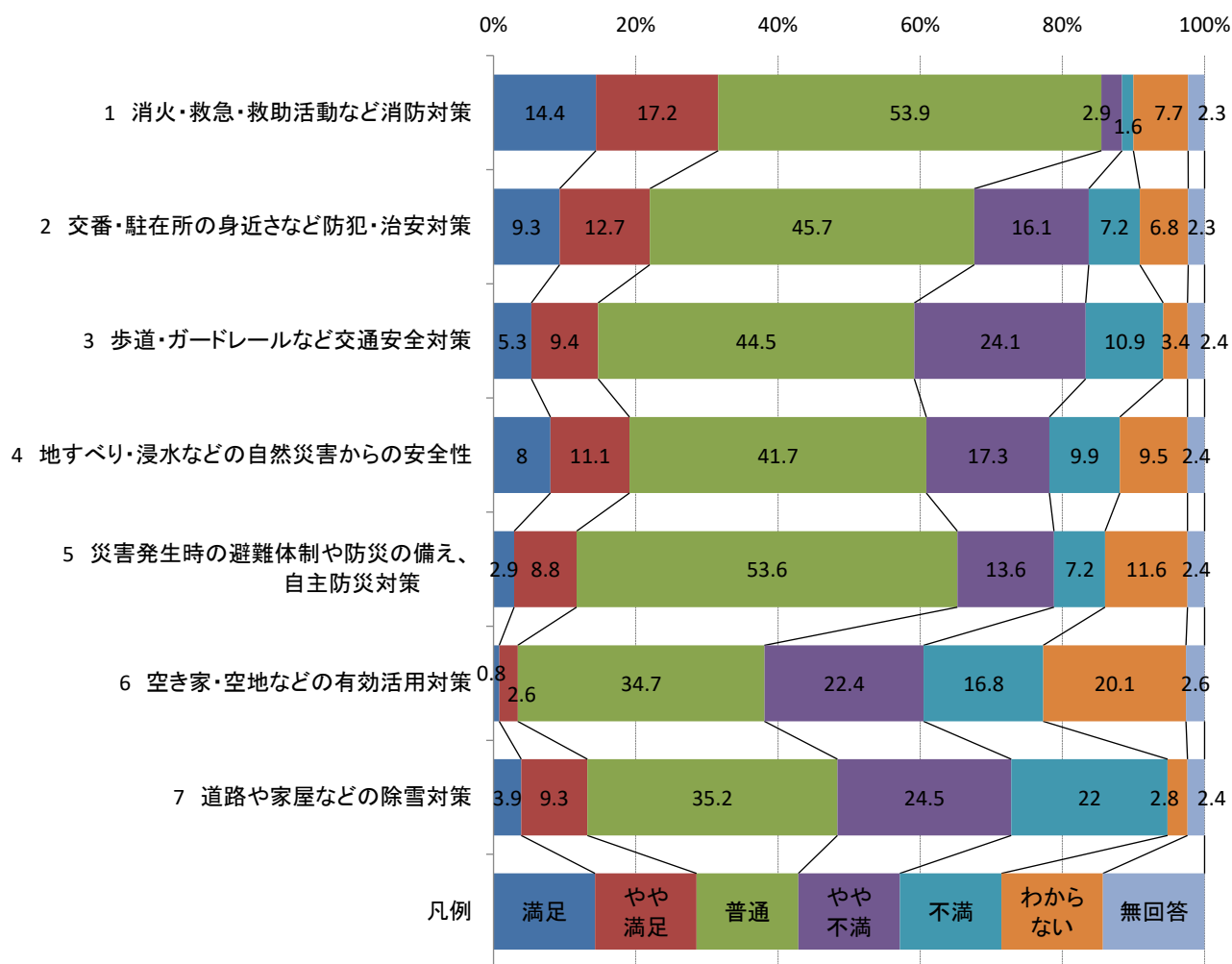
市外に移りたい主な理由(総数 108、単位%、3つまで複数回答)



●市外に移りたい理由は「その他」が33.3%で最も多く、次いで「買い物など日常生活が不便である」が27.8%、「通勤・通学が不便である」が26.9%、「仕事や収入に恵まれていない」が25.0%となっている。

**問6** 身の回り（あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で）の生活の安全性を考えたとき、どの程度満足していますか。それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。（○は1つ）

**身の回りの生活の安全性についての満足度（総数 796）**

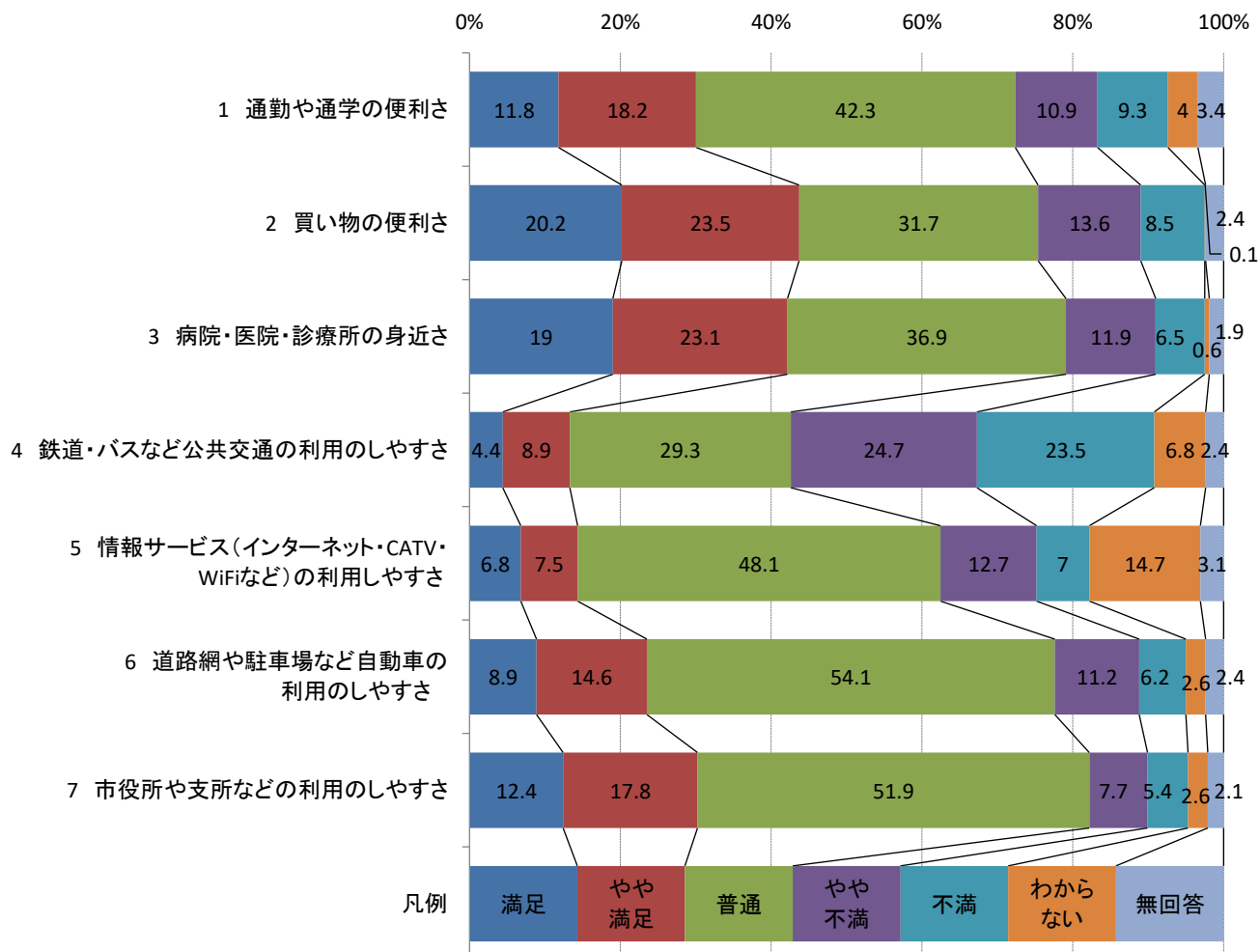


●「満足」「やや満足」を合わせると、「消火・救急・救助活動など消防対策」が31.6%と最も高く、次いで、「交番・駐在所の身近さなど防犯・治安対策」が22.0%、「地すべり・浸水などの自然災害からの安全性」が19.1%などとなっている。

「やや不満」「不満」を合わせると、「道路や家屋などの除雪対策」が46.5%、「空き家・空き地などの有効活用対策」が39.2%、「歩道・ガードレールなど交通安全対策」が35.0%などとなっており、除雪対策への不満度が高くなっている。

**問7** 身の回り（あなたが住んでいる小学校区くらいの範囲で）の生活の利便性（便利さ）を考えたとき、どの程度満足していますか。それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。（○は1つ）

**身の回りの生活の利便性についての満足度(総数 796)**



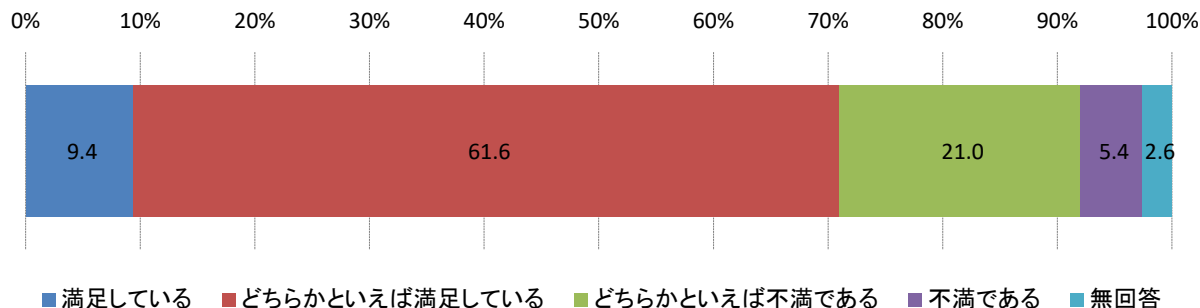
●「満足」「やや満足」を合わせると、「買い物の便利さ」が43.7%と最も高く、次いで「病院・医院・診療所の身近さ」が42.1%、「市役所や支所などの利用のしやすさ」が30.2%、「通勤や通学の便利さ」が30.0%などとなっている。

「やや不満」「不満」を合わせると、「鉄道・バスなど公共交通の利用のしやすさ」が48.2%、「買い物の便利さ」が22.1%、「通勤や通学の便利さ」が20.2%などとなっている。



**問8** 中野市の行政サービス全般に対する、あなたの「満足度」について、あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

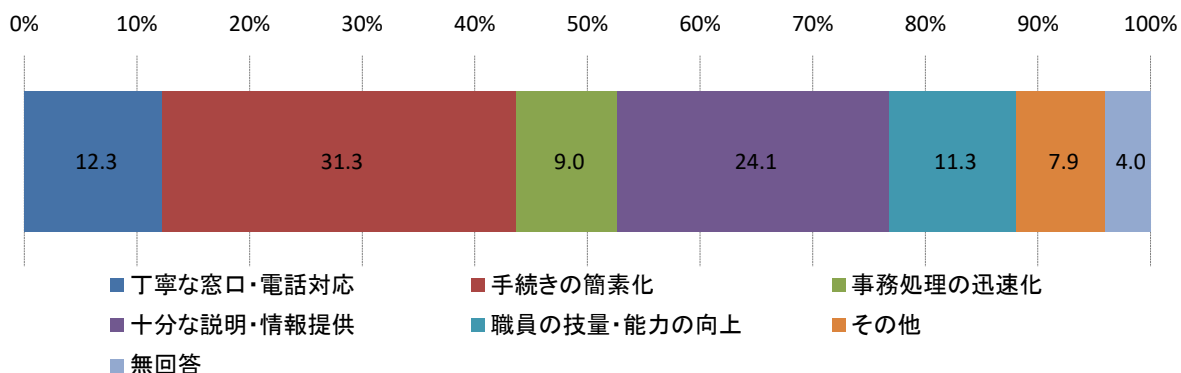
中野市の行政サービスに対する全般の満足度(総数 796、単位%)



●「満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせると、71.0%が満足と回答している。一方、「どちらかといえば不満である」21.0%、「不満である」5.4%、「無回答」2.6%となっている。

**問9** あなたは中野市の行政サービスの向上に何を求めますか。あてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

中野市の行政サービスの向上に求めるもの(総数 796、単位%)

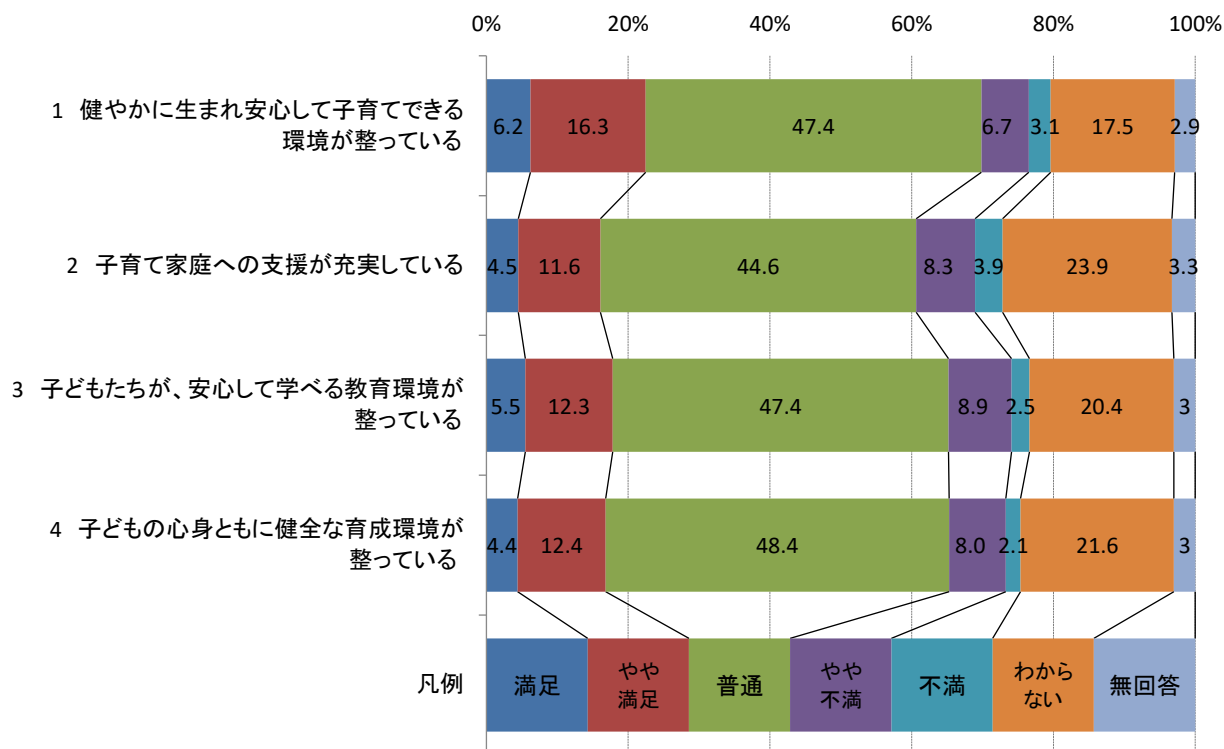


●「手続きの簡素化」が31.3%、「十分な説明・情報提供」が24.1%「丁寧な窓口・電話対応」が12.3%、「職員の技量・能力の向上」が11.3%などとなっている。

**問10** 市の政策に対するあなたの満足度（実感）を教えてください。  
それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。（○は1つ）

【子育て・学校教育について】

市政に対する満足度・【子育て・学校教育】（総数 796）



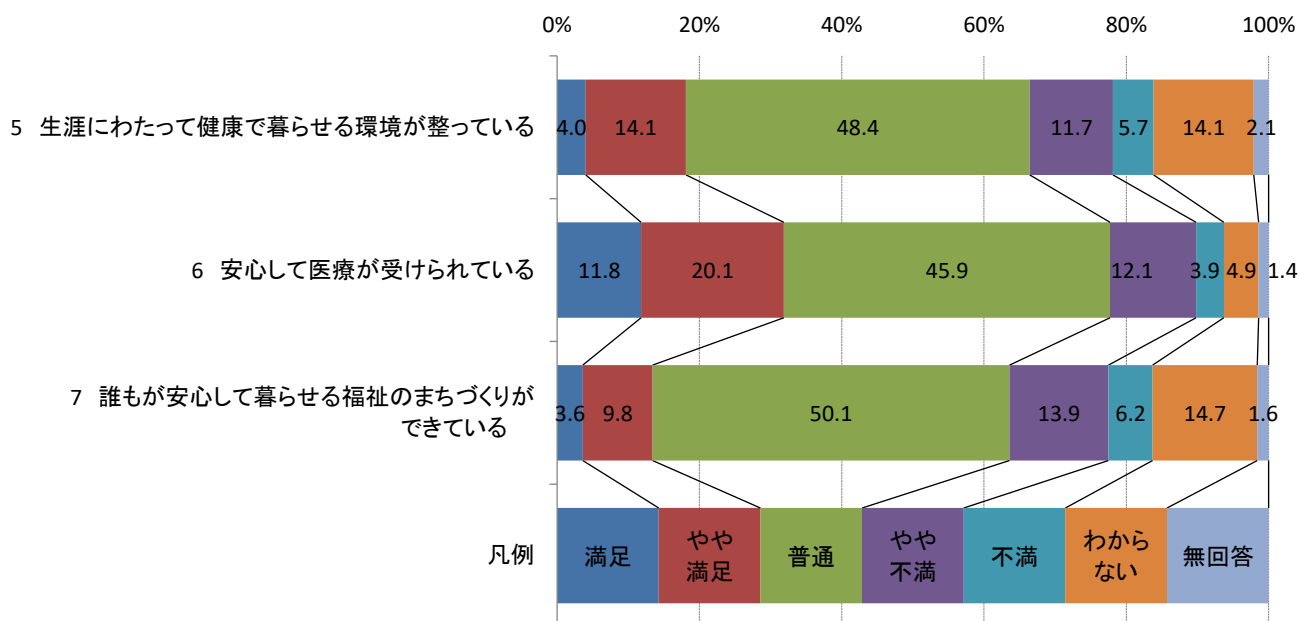
●どの項目も「普通」が40%台を占めている。「満足」「やや満足」を合わせると、「健やかに生まれ安心して子育てできる環境」への満足度が22.5%で最も高く、次いで「子どもたちが、安心して学べる教育環境」が17.8%、「子どもの心身ともに健全な育成環境」が16.8%などとなっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「子育て家庭への支援が充実」が12.2%、「子どもたちが、安心して学べる教育環境」が11.4%、「子どもの心身ともに健全な育成環境」が10.1%、「健やかに生まれ安心して子育てできる環境」が9.8%などとほぼ同じ比率となっている。

子育て・学校教育の分野では、「わからない」とする回答も多く、既に子育てを終了した方や市内での子育て・教育の経験しかない方などが多いと思われ、比較対照するものがなく判断に戸惑われたのかもしれない。

【健康・福祉について】

市政に対する満足度・【健康・福祉】（総数 796）



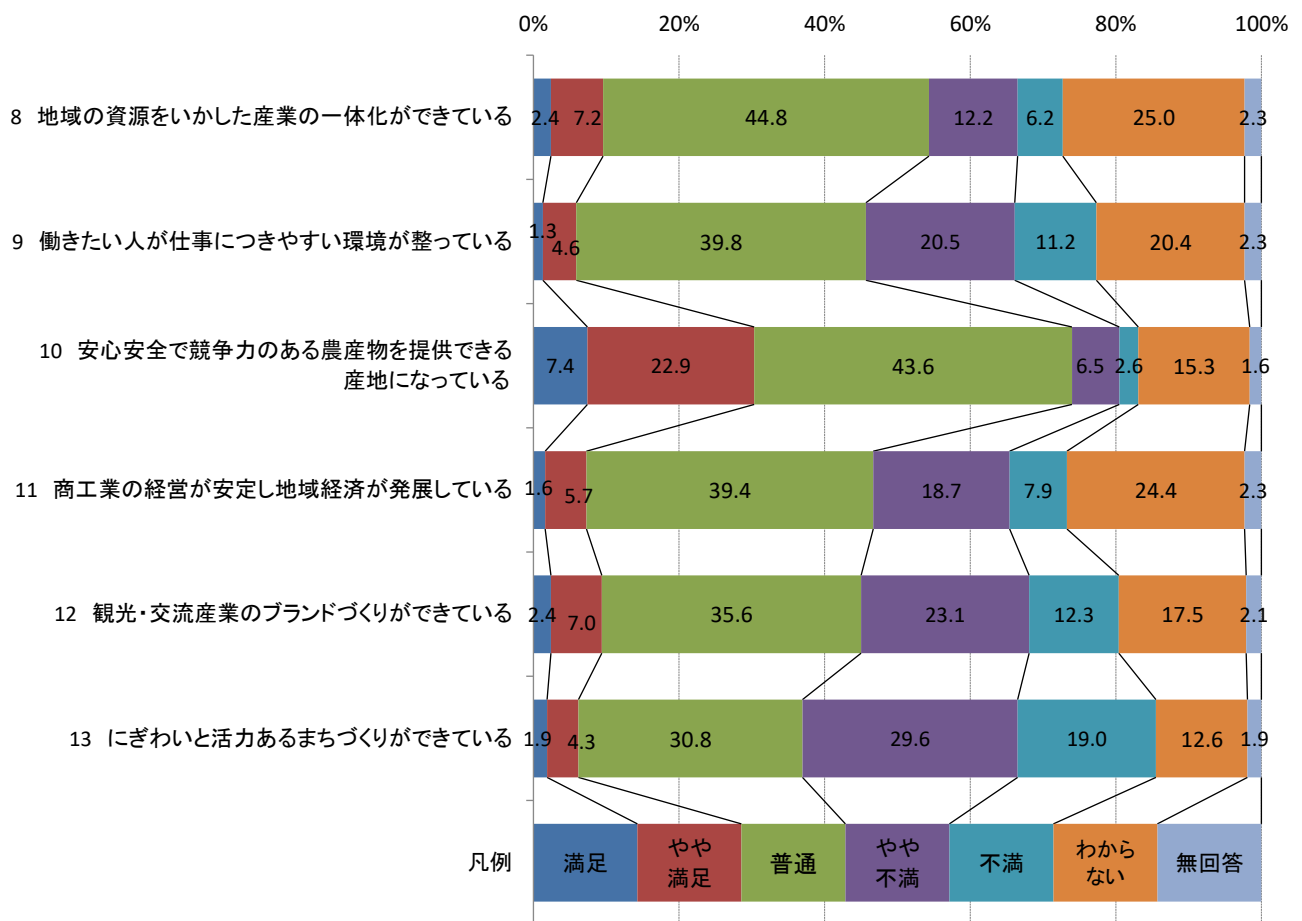
●どの項目も「普通」が40%台、50%台を占めている。「満足」「やや満足」を合わせると、「安心して医療が受けられている」が31.9%で最も高く、次いで「生涯にわたって健康で暮らせる環境」が18.1%、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」が13.4%となっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」が20.1%で最も高く、次いで「生涯にわたって健康で暮らせる環境」が17.4%、「安心して医療が受けられている」が16.0%となっている。

健康・福祉の分野で満足度が不満足度を上回っているのは「安心して医療が受けられている」と「生涯にわたって健康で暮らせる環境」となっている。

【産業・経済について】

市政に対する満足度・【産業・経済】（総数 796）



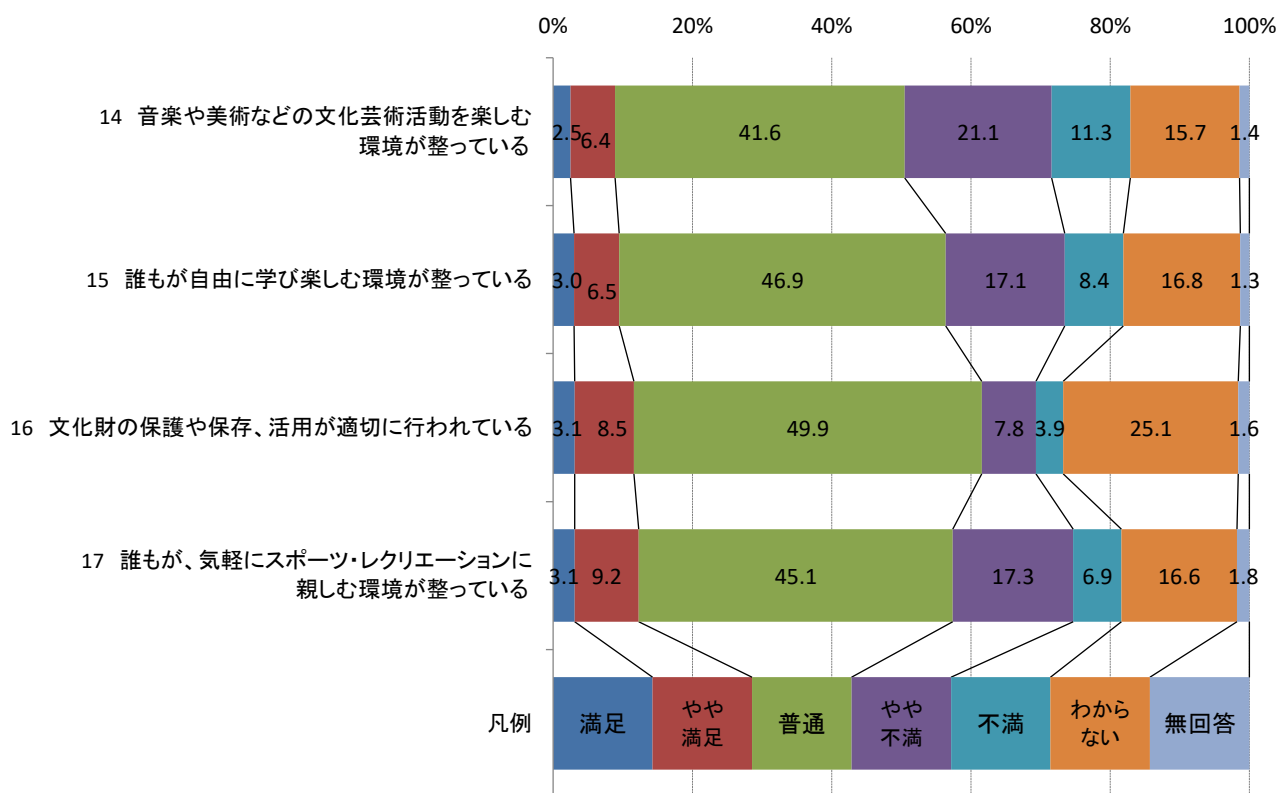
●項目ごとに評価が大きく異なっている。「満足」と「やや満足」を合わせると、「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」が30.3%で最も高く、次いで「地域の資源をいかした産業の一体化」が9.6%、「観光・交流産業のブランドづくり」が9.4%、などとなっている。

「やや不満」と「不満」を合わせた割合は「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」以外の項目で全般に高くなっており、「にぎわいと活力あるまちづくり」が48.6%で最も高く、次いで「観光・交流産業のブランドづくり」が35.4%、「働きたい人が仕事につきやすい環境」が31.7%などとなっている。

満足度が不満足度を上回っているのは、「安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地」のみとなっている。

【文化・生涯学習について】

市政に対する満足度・【文化・生涯学習】（総数 796）



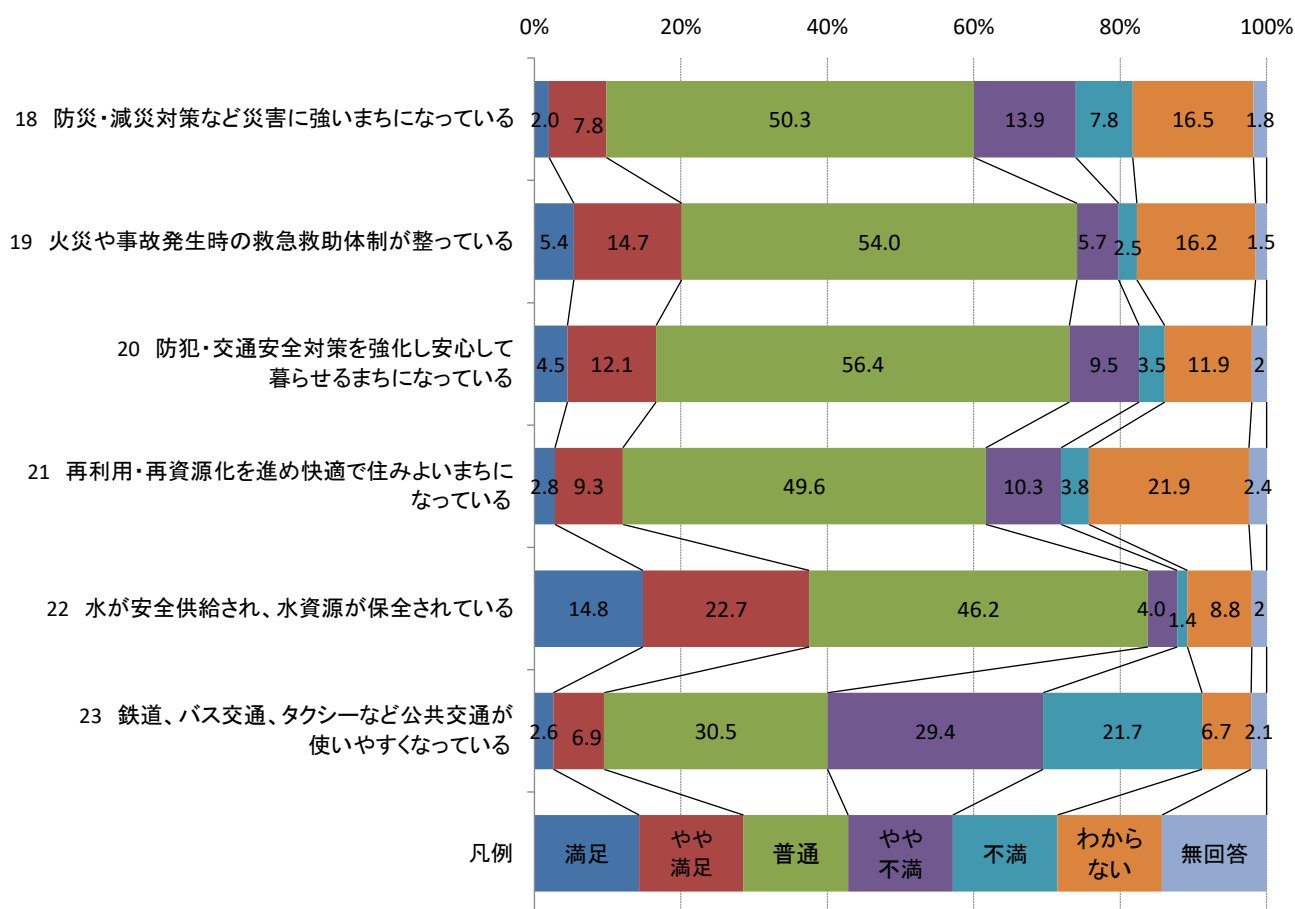
●どの項目も「普通」が40%台を占めており、いずれも不満の割合が満足の割合を上回っている。

「満足」と「やや満足」を合わせると、「誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境」が12.3%で最も高く、次いで、「文化財の保護や保存、活用が適切に行われている」が11.6%、「誰もが自由に学び楽しむ環境」が9.5%、「音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境」が8.9%などとなっている。

一方、「やや不満」と「不満」を合わせると、「音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境」が最も高く32.4%で、次いで「誰もが自由に学び楽しむ環境」が25.5%、「誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境」が24.2%などとなっている。

## 【定住環境について】

市政に対する満足度・【定住環境】（総数 796）



●「鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通」を除くといずれも「普通」40%台、50%台と多くを占めている。

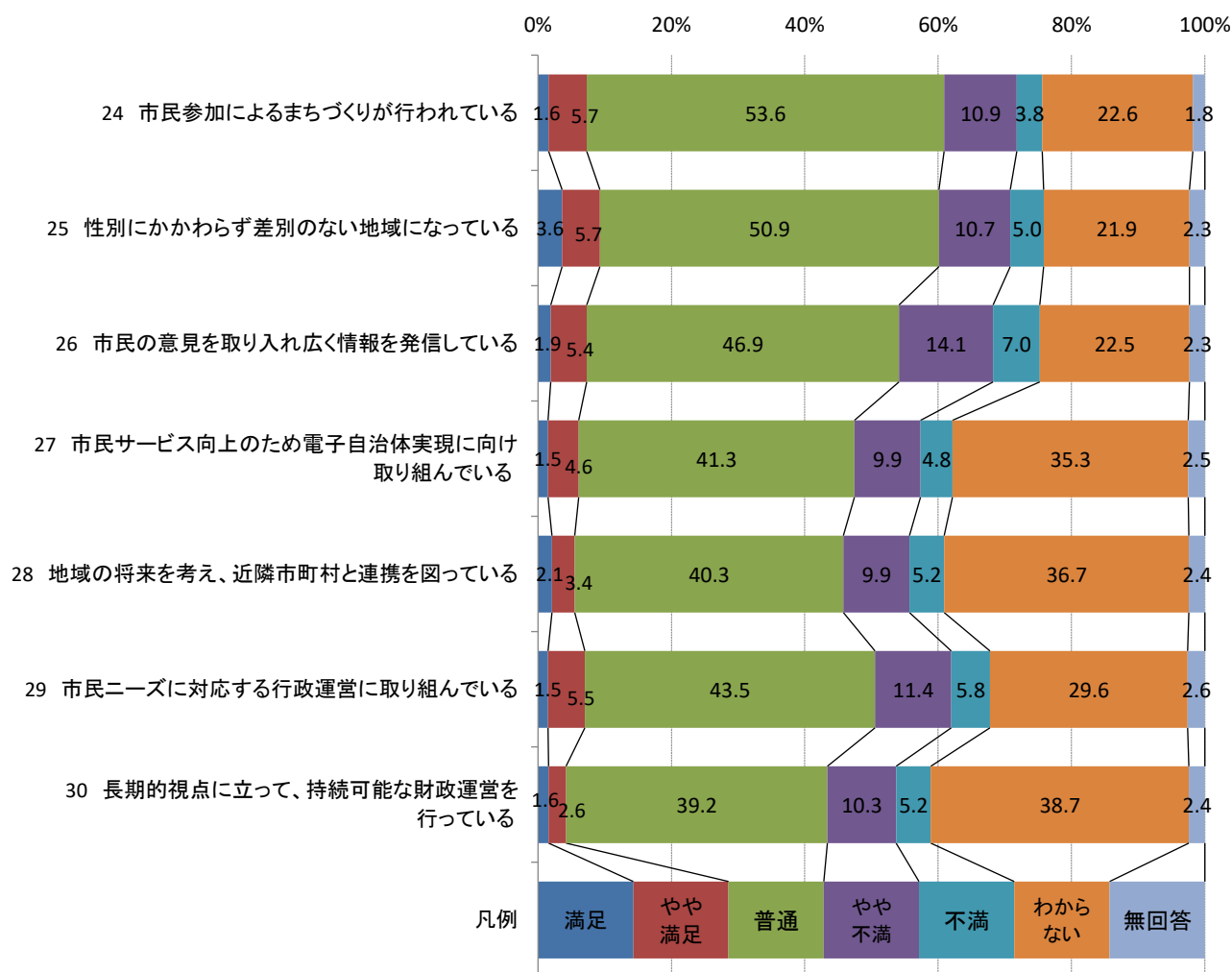
「満足」と「やや満足」を合わせると、「水が安全供給され、水資源が保全」が37.5%とびぬけて高く（全分野中最高）、次いで、「火災や事故等発生時の救急救助体制」が20.1%、「防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまち」が16.6%などとなっている。

一方、「やや不満」「不満」を合わせると、「鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通」がとびぬけて高く51.1%、次いで「防災・減災対策など災害に強いまち」が21.7%、「再利用・再資源化を進め快適で住みよいまちになっている」が14.1%、「防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまち」が13.0%などとなっている。

定住環境の分野では、満足度の高い「水が安全供給され、水資源が保全」と不満度の高い「鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通」とがあり、いずれも市民にとって一番身近で関心の高い項目となっている。

【 協働・行政経営について 】

市政に対する満足度・【協働・行政経営】（総数 796）



●いずれも「普通」が多くを占めており、同時に「わからない」という回答が多くみられる。

「満足」と「やや満足」を合わせると、「性別にかかわらず差別のない地域」が9.3%で最も高く、次いで、「市民参加によるまちづくり」と「市民の意見を取り入れ広く情報を発信している」が7.3%、「市民ニーズに対応する行政運営に取り組んでいる」が7.0%などとなっている。

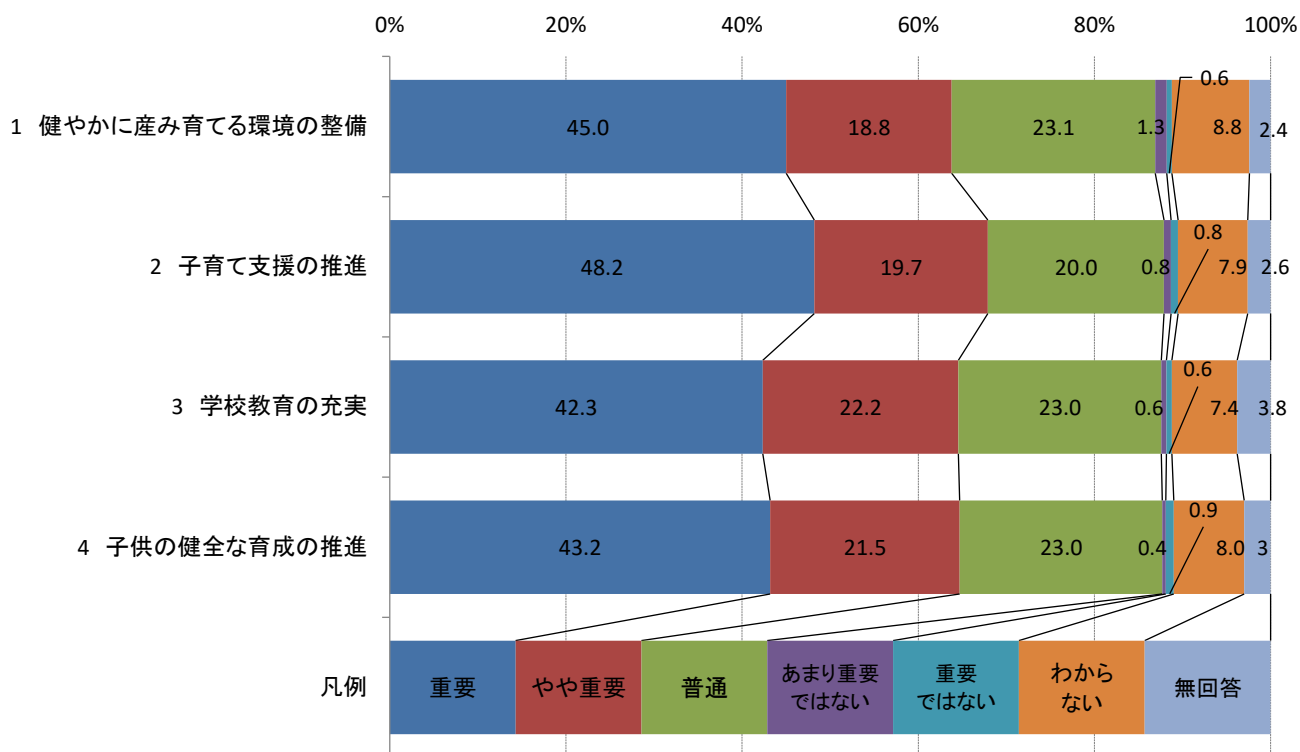
「やや不満」と「不満」を合わせると、「市民の意見を取り入れ広く情報発信」が21.1%で最も高く、次いで「市民ニーズに対応する行政運営」が17.2%、「性別にかかわらず差別のない地域」が15.7%、「市民参加によるまちづくり」が14.7%などとなっている。

協働・行政経営の分野については実態を把握しにくいのか「わからない」とする回答の比率が全項目とも高いように思われる。

**問11** 10年後、20年後の将来、中野市が元気で夢がもてる、安心・安全な都市である為には、今後、どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。  
市の政策に対するあなたの**重要度**について、それぞれの項目のあてはまるものに○をしてください。(○は1つ)

【基本政策1 未来のふるさとを担う子どもたちを育むまちづくり(子育て・学校教育)】

市の施策の重要度【子育て・学校教育】(総数 796)



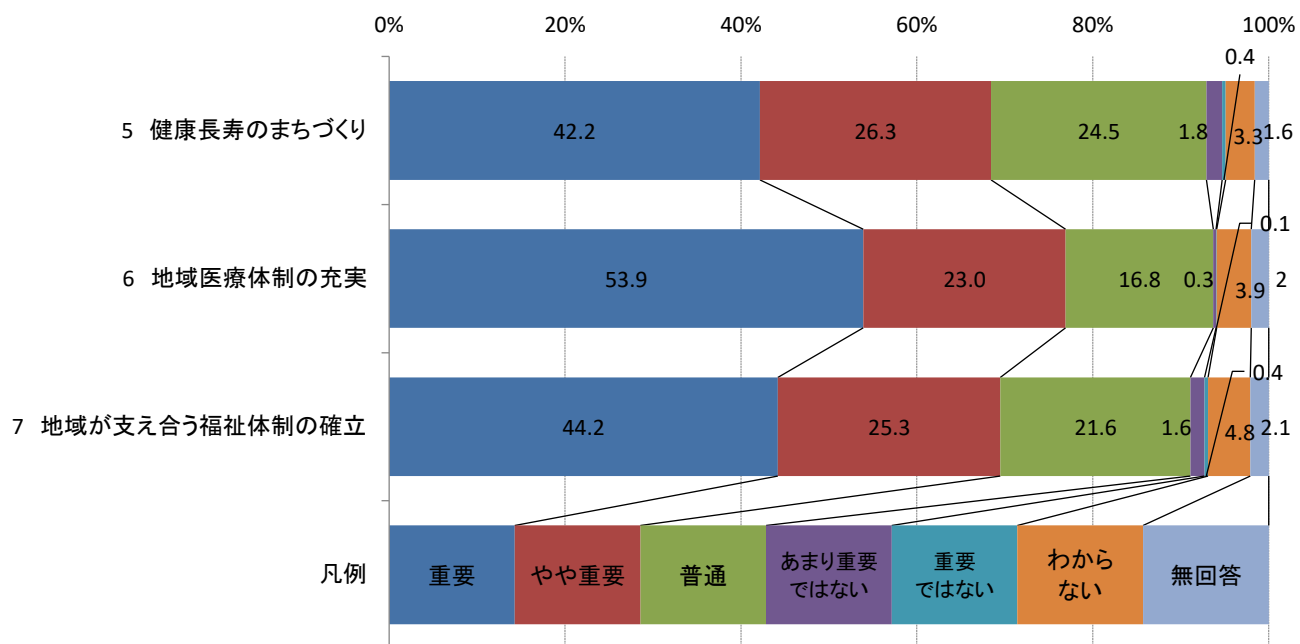
●「重要」と「やや重要」を合わせると、「子育て支援の推進」が67.9%で最も高く、次いで「子供の健全な育成の推進」が64.7%、「学校教育の充実」が64.5%、「健やかに産み育てる環境の整備」が63.8%とほぼ拮抗している。

「あまり重要ではない」と「重要ではない」はごく少数で、「子育て・学校教育」への期待と関心の高さが窺える。



【 基本政策2 支えあい健やかに暮らせる健康長寿のまちづくり(健康・福祉) 】

市の施策の重要度【健康・福祉】（総数 796）

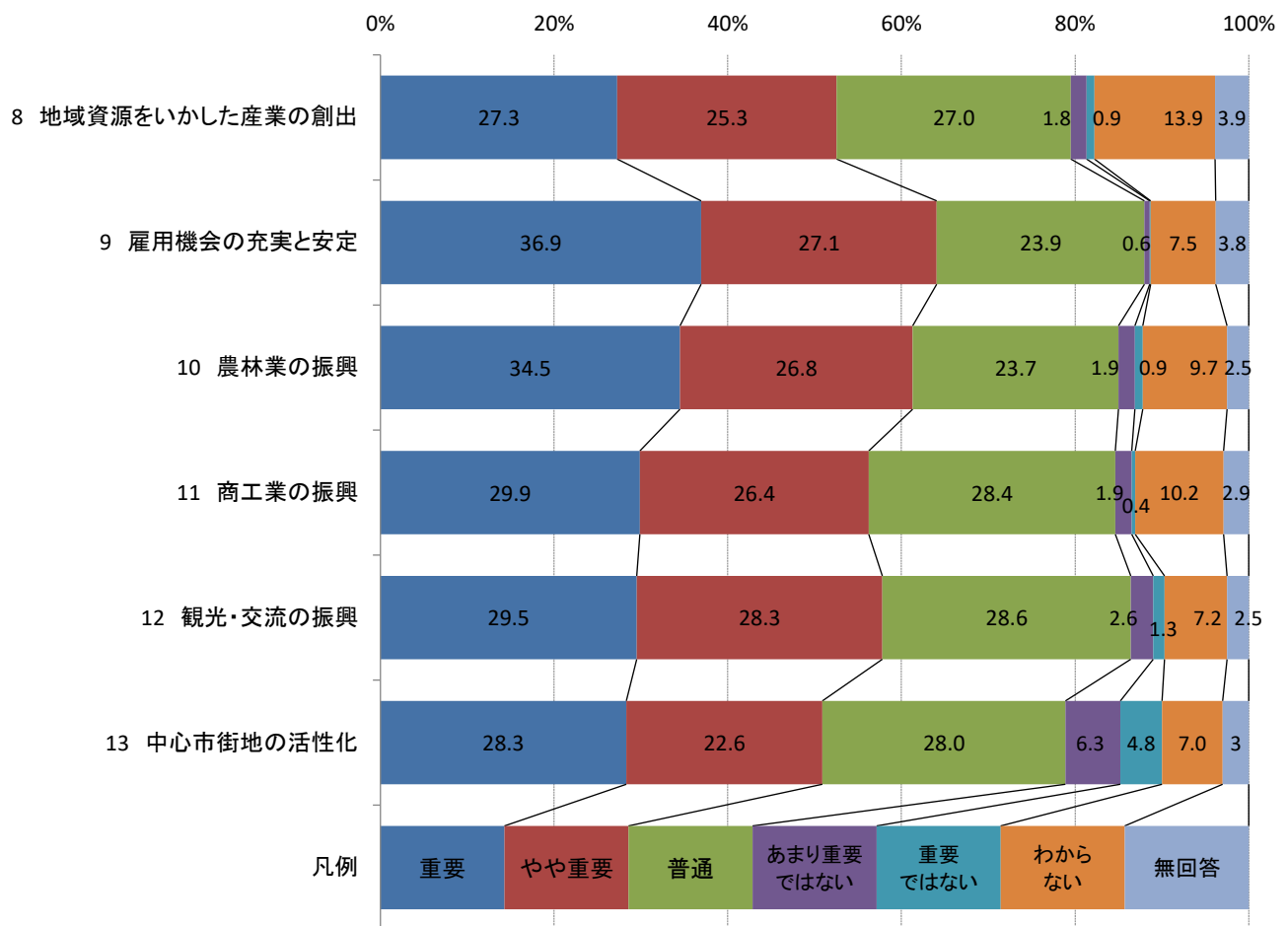


●「重要」と「やや重要」を合わせると、「地域医療体制の充実」が 76.9%で最も高く、次いで「地域が支え合う福祉体制の確立」が 69.5%、「健康長寿のまちづくり」が 68.5%となっている。

「あまり重要ではない」と「重要ではない」はごく少数で、「健康・福祉」についても市民の期待と関心は高い。

【 基本政策3 にぎわいと活力あふれるまちづくり(産業・雇用) 】

市の施策の重要度【産業・雇用】（総数 796）

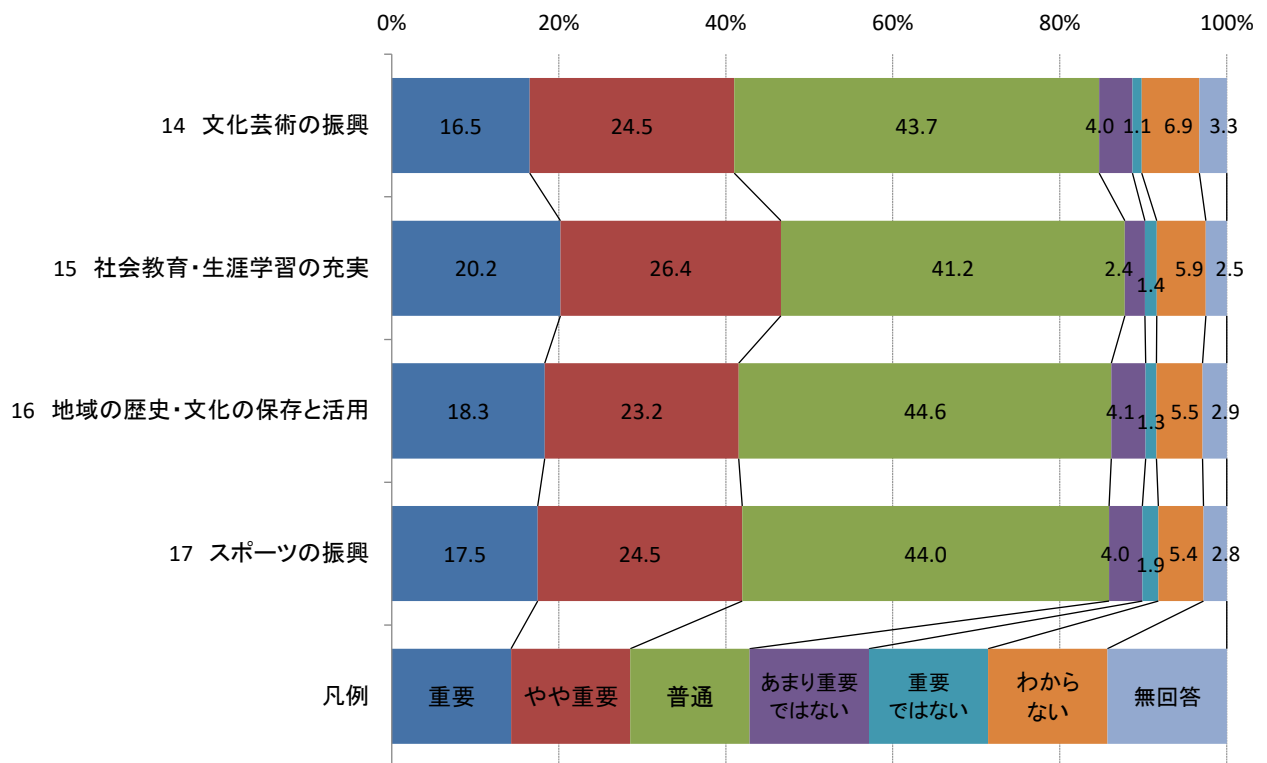


●「重要」と「やや重要」を合わせると、「雇用機会の充実と安定」が64.0%で最も高く、次いで「農林業の振興」61.3%、「観光・交流の振興」57.8%、「商工業の振興」56.3%、「地域資源をいかした産業の創出」52.6%などとなっている。

「あまり重要ではない」と「重要ではない」では「中心市街地の活性化」に対して合わせて11.1%が重要ではないとしているが、同じ項目の「重要」と「やや重要」を合わせると50.9%となり、差が39.8%と重要とする回答が大幅に上回っている。

【 基本政策4 ふるさとを学び育つ文化のまちづくり(文化・生涯学習) 】

市の施策の重要度【文化・生涯学習】(総数 796)

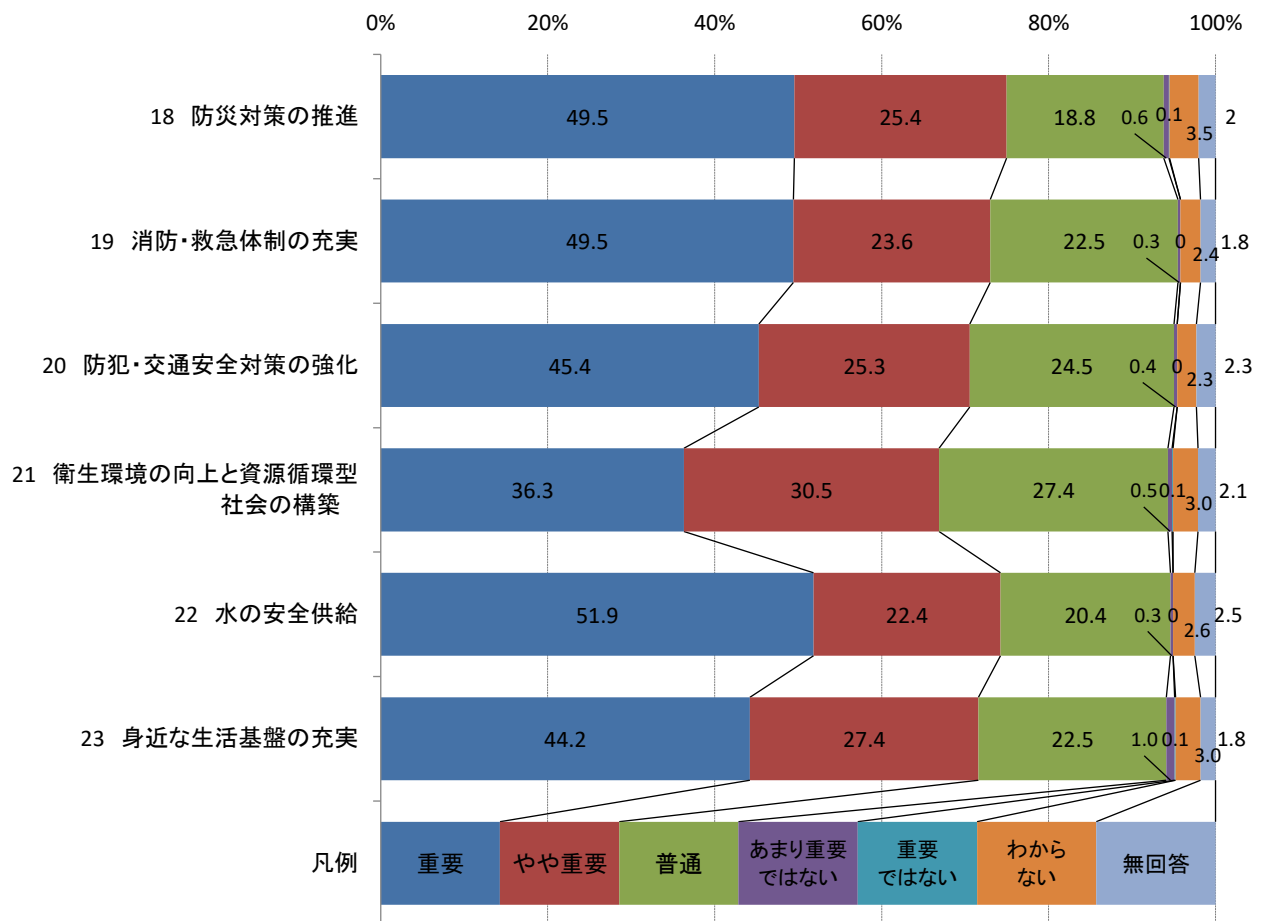


●どの項目も「普通」の比率が他の基本政策と比べ最も高くなっている。「重要」と「やや重要」を合わせると、「社会教育・生涯学習の充実」が46.6%で最も高く、次いで「スポーツの振興」が42.0%、「地域の歴史・文化の保存と活用」41.5%、「文化芸術の振興」41.0%などと拮抗している。

ごく少数ではあるが「あまり重要ではない」、「重要ではない」という回答が見られる。

【 基本政策5 安心・安全な住みよいまちづくり(定住環境) 】

市の施策の重要度【定住環境】(総数 796)

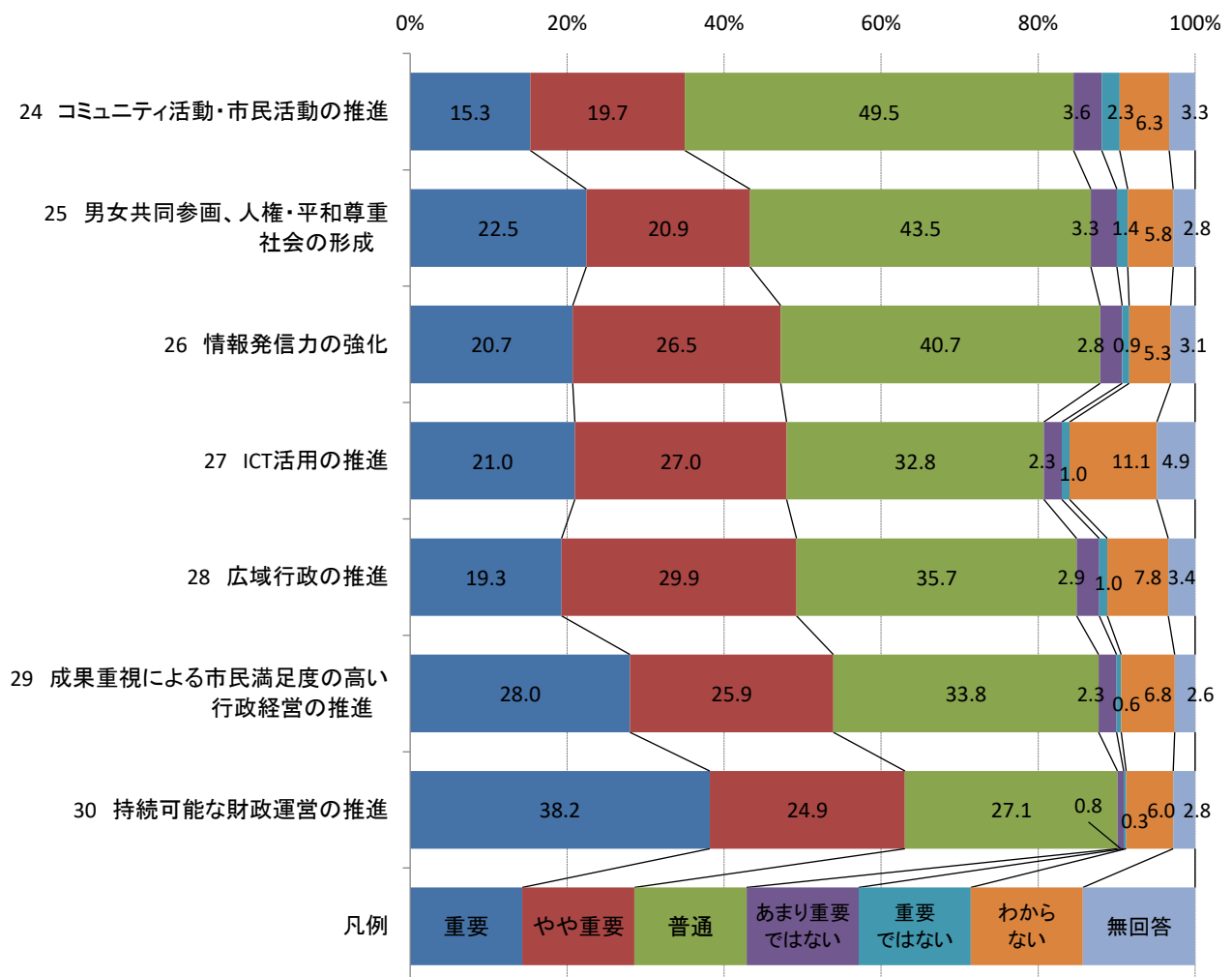


●「重要」と「やや重要」を合わせると、「水の安全供給」が74.3%で最も高く、次いで「防災対策の推進」74.9%、「消防・救急体制の充実」73.1%、「身近な生活基盤の充実」71.6%、「防犯・交通安全対策の強化」70.7%、「衛生環境の向上と資源循環型社会の構築」66.8%などとなっている。

「あまり重要ではない」、「重要ではない」はごく少数となっている。

【 基本政策6 市民参加と協働のまちづくり(協働・行政運営) 】

市の施策の重要度【協働・行政運営】(総数 796)



●「持続可能な財政運営の推進」を除く項目でそれぞれ「普通」が最も多い回答となっている。「重要」と「やや重要」を合わせると、「持続可能な財政運営の推進」が63.1%で最も高く、次いで「成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進」が53.9%、「広域行政の推進」49.2%などとなっている。

「あまり重要ではない」、「重要ではない」とする回答は少数であるが、この協働・行政経営の分野では、「わからない」との回答がいずれも5.3%から11.1%と、項目の内容がやや具体性に欠け市民が判断しにくい項目となっていたのではないかとと思われる。

表 1 満足度と重要度の評価点一覧

No.	満足度項目	評価点	重要度項目	評価点	分野
1	健やかに生まれ安心して子育てできる環境が整っている	0.20	健やかに産み育てる環境の整備	1.20	子育て・学校教育
2	子育て家庭への支援が充実している	0.06	子育て支援の推進	1.27	子育て・学校教育
3	子どもたちが、安心して学べる教育環境が整っている	0.12	学校教育の充実	1.18	子育て・学校教育
4	子どもの心身ともに健全な育成環境が整っている	0.12	子供の健全な育成の推進	1.19	子育て・学校教育
5	生涯にわたって健康で暮らせる環境が整っている	-0.01	健康長寿のまちづくり	1.14	健康・福祉
6	安心して医療が受けられる	0.25	地域医療体制の充実	1.38	健康・福祉
7	誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりができています	-0.11	地域が支え合う福祉体制の確立	1.20	健康・福祉
8	地域の資源をいかした産業の一体化ができています	-0.17	地域資源をいかした産業の創出	0.93	産業・雇用
9	働きたい人が仕事につきやすい環境が整っている	-0.46	雇用機会の充実と安定	1.13	産業・雇用
10	安心安全で競争力のある農産物を提供できる産地になっている	0.31	農林業の振興	1.05	産業・雇用
11	商工業の経営が安定し地域経済が発展している	-0.35	商工業の振興	0.96	産業・雇用
12	観光・交流産業のブランドづくりができています	-0.45	観光・交流の振興	0.91	産業・雇用
13	にぎわいと活力あるまちづくりができています	-0.70	中心市街地の活性化	0.70	産業・雇用
14	音楽や美術などの文化芸術活動を楽しむ環境が整っている	-0.39	文化芸術の振興	0.57	文化・生涯学習
15	誰もが自由に学び楽しむ環境が整っている	-0.26	社会教育・生涯学習の充実	0.67	文化・生涯学習
16	文化財の保護や保存、活用が適切に行われている	-0.01	地域の歴史・文化の保存と活用	0.58	文化・生涯学習
17	誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ環境が整っている	-0.19	スポーツの振興	0.56	文化・生涯学習
18	防災・減災対策など災害に強いまちになっている	-0.22	防災対策の推進	1.31	定住環境
19	火災や事故等発生時の救急救助体制が整っている	0.18	消防・救急体制の充実	1.28	定住環境
20	防犯・交通安全対策を強化し安心して暮らせるまちになっている	0.05	防犯・交通安全対策の強化	1.21	定住環境
21	再利用・再資源化を進め快適で住みよいまちになっている	-0.04	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	1.08	定住環境
22	水が安全供給され、水資源が保全されている	0.51	水の安全供給	1.33	定住環境
23	鉄道、バス交通、タクシーなど公共交通が使いやすくなっている	-0.67	身近な生活基盤の充実	1.20	定住環境
24	市民参加によるまちづくりが行われている	-0.13	コミュニティ活動・市民活動の推進	0.47	協働・行政運営
25	性別にかかわらず差別のない地域になっている	-0.10	男女共同参画、人権・平和尊重社会の形成	0.65	協働・行政運営
26	市民の意見を取り入れ広く情報を発信している	-0.25	情報発信力の強化	0.69	協働・行政運営
27	市民サービス向上のため電子自治体実現に向け取り組んでいる	-0.19	ICT活用の推進	0.77	協働・行政運営
28	地域の将来を考え、近隣市町村と連携を図っている	-0.21	広域行政の推進	0.72	協働・行政運営
29	市民ニーズに対応する行政運営に取り組んでいる	-0.21	成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	0.87	協働・行政運営
30	長期的視点に立って、持続可能な財政運営を行っている	-0.25	持続可能な財政運営の推進	1.10	協働・行政運営

【表1について】

① それぞれの評点は、次の通りとしました。

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
評点	2点	1点	0点	-1点	-2点
重要度	重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない
評点	2点	1点	0点	-1点	-2点

② 評価点一覧上の各項目の評価点は、次のように求めました。

「わからない」「無回答」は除き、それぞれ満足度の評点に回答数を掛け、その値を「わからない」「無回答」を除く総回答数で割り算出しました(加重平均値)。表1に、それぞれの評価点を一覧にしてあります。表側の1~30は政策項目で、この番号が図1上の●印に付してあります。

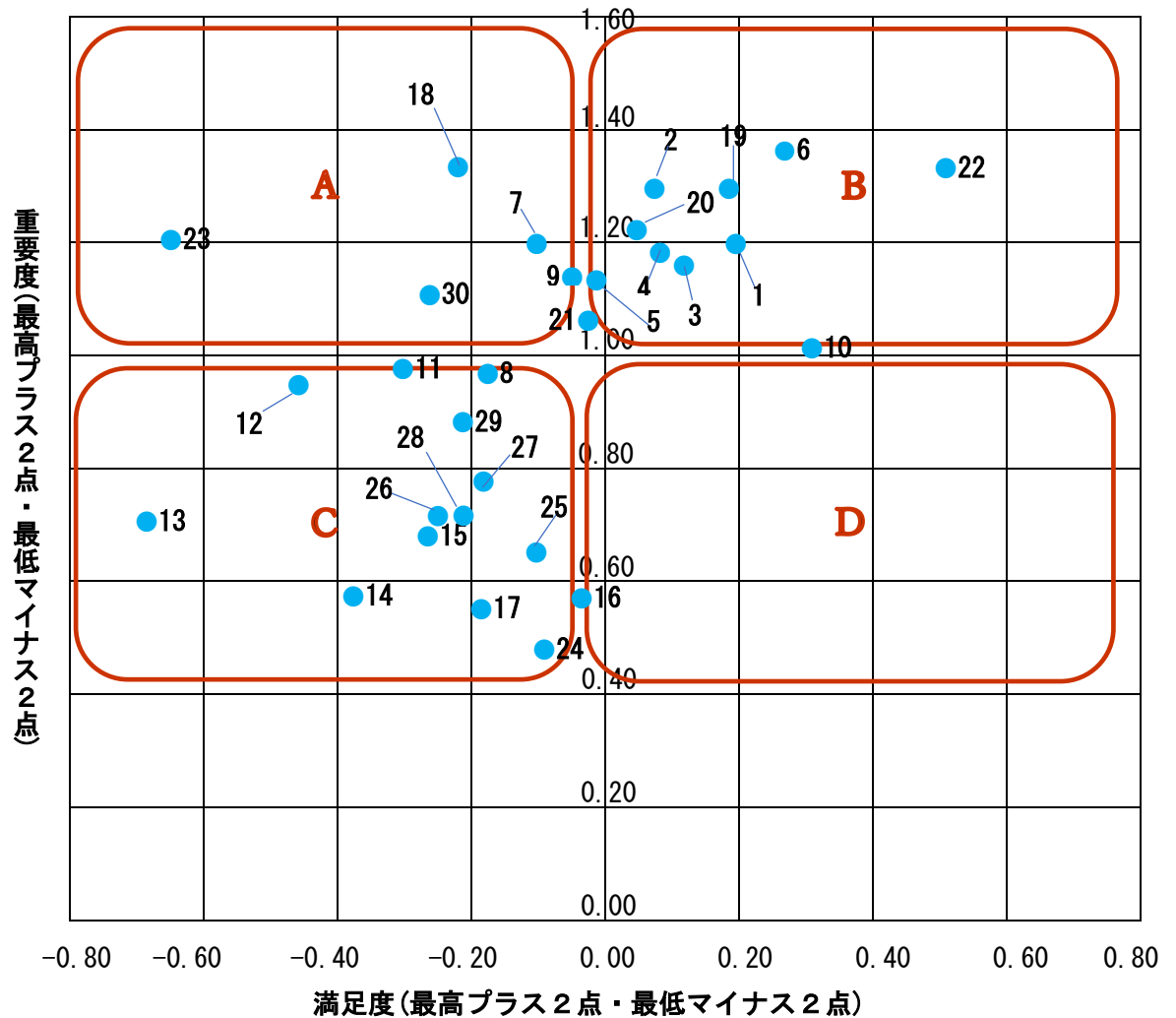
(計算例) 1 健やかに生まれ安心して子育てできる環境が整っている

満足	回答数	●●	票	2点	×	●●	=	○○○点
やや満足	回答数	●●	票	1点	×	●●	=	○○○点
普通	回答数	●●	票	0点	×	●●	=	○○○点
やや不満	回答数	●●	票	-1点	×	●●	=	○○○点
不満	回答数	●●	票	-2点	×	●●	=	○○○点

総合計 ○○● 票 ●●●●点  
(加重平均値)

●●●●点(評点総合計) ÷ ○○● 票(回答数) = 評価点○○点(平均)

図1 市の政策の満足度と重要度の相関



【図1について】

市の政策項目1～30について、それぞれ満足度と重要度について評価点求め、グラフ上に●で示しました。グラフは、満足度を横軸、重要度を縦軸とし、それぞれ最高2点、最低－2点となります。

【図1のA・B・C・D及び表2について】

図1は、おおまかにA・B・C・Dの4つのエリアに分けてみる可以分为できます。(A・B・C・Dエリアの境界は、満足度の平均値－0.08、重要度の平均値1.03としました)。

- A：満足度は低いが重要度は高い
- B：満足度も重要度も高い
- C：満足度は低いが重要度はそれほど高くはない
- D：満足度は高いが重要度はそれほど高くはない

A～Dにはそれぞれの政策項目の優先度に対応させてみる可以分为できます。

- A：早急な対応が求められる
- B：より強化することが期待される
- C：他政策との優先順位を考えて取り組む必要がある
- D：安定的な維持が期待される

これらに基づき、エリアごと(優先度ごと)に政策項目をまとめなおしたのが表2です。

表2 各政策項目の優先度



エリア	No.	重要度項目	分野
A 早急な対応が 求められる	7	地域が支え合う福祉体制の確立	健康・福祉
	9	雇用機会の充実と安定	産業・雇用
	18	防災対策の推進	定住環境
	23	身近な生活基盤の充実	定住環境
	30	持続可能な財政運営の推進	協働・行政運営
B より強化することが 期待される	1	健やかに産み育てる環境の整備	子育て・学校教育
	2	子育て支援の推進	子育て・学校教育
	3	学校教育の充実	子育て・学校教育
	4	子供の健全な育成の推進	子育て・学校教育
	5	健康長寿のまちづくり	健康・福祉
	6	地域医療体制の充実	健康・福祉
	10	農林業の振興	産業・雇用
	19	消防・救急体制の充実	定住環境
	20	防犯・交通安全対策の強化	定住環境
	21	衛生環境の向上と資源循環型社会の構築	定住環境
	22	水の安全供給	定住環境
C 他政策との優先順位を 考えて取組む必要がある	8	地域資源をいかした産業の創出	産業・雇用
	11	商工業の振興	産業・雇用
	12	観光・交流の振興	産業・雇用
	13	中心市街地の活性化	産業・雇用
	14	文化芸術の振興	文化・生涯学習
	15	社会教育・生涯学習の充実	文化・生涯学習
	17	スポーツの振興	文化・生涯学習
	24	コミュニティ活動・市民活動の推進	協働・行政運営
	25	男女共同参画、人権・平和尊重社会の形成	協働・行政運営
	26	情報発信力の強化	協働・行政運営
	27	I C T 活用の推進	協働・行政運営
	28	広域行政の推進	協働・行政運営
	29	成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	協働・行政運営
D 安定的な維持が 期待される	16	地域の歴史・文化の保存と活用	文化・生涯学習